

事前評価調書

I 事業概要																																																									
事業名	道路事業（道路改良事業）																																																								
地区名	主要地方道 <small>とよたいつしき</small> 豊田一色線																																																								
事業箇所	<small>にしお よねづ</small> 西尾市米津町地内																																																								
事業のあらまし	<p>主要地方道豊田一色線は、豊田市を起点として安城市を經由し、西尾市に至る延長 32 kmの路線であり、西三河地域の主要な幹線道路である。</p> <p>本路線の現道は主要渋滞箇所指定されており、物流や人の交流などの点で地域の課題となっている。また、現道は第二次緊急輸送道路に指定されており、大規模災害時において一般国道 23 号などの幹線道路へのアクセスを高める必要がある。</p> <p>このため、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「地震・津波対策の強化」を主な目的として、地域における交通の円滑化と周辺の渋滞緩和を図るとともに、大規模災害時に高規格道路等へのアクセス性を向上させて、円滑な救援・復旧活動を行うため、一般県道豊田一色線のバイパス整備を実施するものである。</p>																																																								
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(2) 地震・津波対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																																								
事業費	事業費	内訳																																																							
	11.8 億円	■工事費 6.1 億円、■用補費 5.4 億円、■その他 0.3 億円																																																							
事業期間	採択予定年度	平成 30 年度	着工予定年度	平成 30 年度	完成予定年度	平成 38 年度																																																			
事業内容	バイパス整備（延長：L=0.8km、車線数：暫定 2 車線（2/4）、幅員：W=23m）																																																								
II 評価																																																									
①事業の必要性	1) 必要性	<p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備（渋滞緩和）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道は交通量が 16,892 台/日、混雑度が 1.30（H27 交通センサス）となっており、日常的に渋滞が発生している状況にある。 <p>(2) 地震・津波対策の強化（広域的な防災機能の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道が第二次緊急輸送道路に指定されているが、現道は日常的に渋滞が発生している状況にあるため、緊急輸送道路の代替路線が必要な状況である。 <p>また、費用便益分析マニュアル（H20.11）に基づき算定した B/C は「2.1」で 1.0 を越えている</p>																																																							
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋滞の緩和、防災機能の向上のため事業実施が必要である。 																																																						
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>【事業計画】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">H30</th> <th style="width: 10%;">H31</th> <th style="width: 10%;">H32</th> <th style="width: 10%;">H33</th> <th style="width: 10%;">H34</th> <th style="width: 10%;">H35</th> <th style="width: 10%;">H36</th> <th style="width: 10%;">H37</th> <th style="width: 10%;">H38</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">工 種 区 分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="3">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td colspan="4">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td colspan="5">←————→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4">5.2</td> <td colspan="4">6.6</td> </tr> </tbody> </table>						H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	工 種 区 分	調査・設計	←————→									用地補償		←————→								工事			←————→							事業費（億円）		5.2				6.6			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38																																															
工 種 区 分	調査・設計	←————→																																																							
	用地補償		←————→																																																						
	工事			←————→																																																					
事業費（億円）		5.2				6.6																																																			
		<p>（注）事業費は、調査・設計費、用地補償費、工事費をそれぞれ示している。</p>																																																							

2) 地元の合意形成	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体等より早期整備の要望を受けている。 ・本事業に関連する圃場整備事業と事業実施に向けた調整を行っている。 	
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】 ・円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されているため。	
Ⅲ 対応方針（案）		
事業実施が妥当である	事業実施が妥当である。：上記①～②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度		